

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：明德釜利谷保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：杉山 明美	定員（利用人数）： 100(107) 名	
所在地：〒236-0045 横浜市金沢区釜利谷南4-29-4		
TEL：045-791-3150	ホームページ： http://www.meitokka.or.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2002年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 明德福祉会		
職員数	常勤職員： 15 名	非常勤職員 14 名
専門職員	保育士：園長、副園長 1名	保育士：主任、副主任 2名
	保育士 22名	栄養士（内管理栄養士） 1(1)名
	調理員 4名	
施設・設備の概要	乳児室(0～2歳児室) 3室	沐浴室 1室
	幼児室(3～5歳児室) 3室	トイレ 4室
	調理室 1室	事務室 1室
	職員休憩室（更衣室） 1室	地域子育て支援室 1室
	鉄筋コンクリート造り2階建て 建物延床面積：875.76㎡	園庭 395.00㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】

子どもの人権や主体性を尊重し、保護者や地域社会と力を合わせて、子どもの最善の幸せのために努力する。

【基本方針】

子どもの健康と安全を基本にし、豊かな人間性と生き生きとした子どもを育成する。基本的な生活習慣を身につけ、集団の中で「元気な体・考える頭・愛する心」を育てる。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

京浜急行「金沢文庫」駅より京急バスで10分、バス停「パークタウン西」下車徒歩3分の、丘の上の閑静な住宅街にあります。区画整理された街並みに、大小様々な公園があり、リスに出会うこともある自然に恵まれた環境です。少し足を延ばせば金沢自然公園や関東学院大学金沢文庫キャンパスがあり、季節を選んで園外活動に出かけています。

木のぬくもりが感じられる園舎で、0歳児から5歳児まで定員100名のところ、107名が在園しています。園庭には太鼓橋や登り棒、砂場があります。園庭を囲む花壇で季節の花や野菜を育て、遊びや食育につなげています。

南区、旭区、相模原市に系列園があり、4園の園長が運営会議を行って、運営法人全体の保育の質の向上に取り組んでいます。

【園の特徴】

「よこはま☆保育・教育宣言」と園の保育理念・方針に基づいた保育の実践に努めています。

子どもがそれぞれの遊びを選んで遊び込めるように、時間配分もゆったりと設定しています。0～2歳児の保育室は低い棚や畳等でコーナーをつくり、年齢に合ったおもちゃや遊具を自由に手に取れるようにしています。3～5歳児の保育室は大きなワンフロアで、子どもが普段は仕切りをせずに自由に行き来でき、子どもたちが好きなコーナーで遊んでいます。

2歳児室に「のんびりルーム」や、1階に絵本コーナーがあり、のんびりルームは現在ままごとのコーナーになっていて、子どもが隠れているつもりになりながら、職員から子どもの様子が見えるよう壁に穴をあけています。

廊下の数か所や絵本コーナーに、子ども用の長椅子やソファを置いて、子どもがゆったりとくつろげるようにしています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月11日（契約日） ～ 2023年1月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2017年度）

⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

1. 子どもの気持ちに寄り添いながら保護者と進める基本的な生活習慣の習得

園では、基本的な生活習慣の習得は、子ども同士の育ち合いのなかでできるようになることも多いと考えています。子どもは保護者に甘えたい気持ちもあるので、家では子どもができることも教えてやってあげても良く、保護者には、園で子どもが自ら取り組んだ際は、「こういう言葉をかけたらできました」と子どもの意欲につながる言葉を伝えて連携しています。

2. 園全体で子ども一人ひとりをよく見て尊重する保育

子どもの様子や育ちについて日々クラスで話し合い、乳幼児会議や職員会議で他のクラス職員とも共有しています。園では毎年クリスマスに、子どもたちそれぞれに、相應しい絵本を選んでプレゼントしています。なぜその子どもにその本を選んだのか、担任が理由を説明して職員間で納得して渡しています。卒園したきょうだい児のいる子どもには、過去の記録を確認し、同じ本を選ばないように配慮しています。

3. 職員間の連携のための工夫

園長は、職員との個人面談を行い、職員にとって働きやすく、自分の考えや意見を自由に発言でき、他の職員と協力して保育力の向上が図れるよう、会議の持ち方や更衣室への掲示、ノートを活用するなど、情報共有の仕組みを工夫しています。

夏の登園する園児が少ない時期に、幼児担当職員が乳児クラスに入るなど、園内で職員の配置を変更する取組を行い、子どもの育ちへの理解や職員の動き等多くの気づきを得て、業務を連携して行う意識が高まりました。

4. 働きやすい職場づくり

小学校1年生の終わりまで利用できる育児休暇・短時間勤務制度、1時間単位の有給休暇取得制度、住宅手当、リフレッシュ休暇制度等があります。看護・介護休暇制度を適切に利用でき、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行って、職員に、非常勤職員も含め定年まで長く働いてもらうための、働きやすい職場づくりを進めています。

5. さらなる保育の質の向上のための話し合いの機会の確保

定期的に職員全体で保育の振り返りを行い、子どもの発達や保育の内容について共有し、さらに向上する意識を高めるよう取り組むこと、また、職員一人ひとりが自分の言葉で記録に残せるようになることを目標としています。園ではそのための話し合いの時間が足りないと考えていますので、業務の効率化等に取り組んで、互いに学び合う意識の向上につながる話し合いの機会を増やし、さらに学びを深めていくことが期待されます。

6. 評価しやすい事業計画の工夫と職員・保護者への周知

中長期計画に基づく単年度の事業計画を策定していますが、担当者や期限を設定し、具体的に実施状況の評価がしやすいものにすることが望まれます。また、保護者に保育の取組は丁寧に伝えていきますので、重点目標や設備修繕についてなども事業計画として説明して推進することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受審して

園は今年創立20周年を迎え、改めて保育を見直し、保育の質を高めたいと考え、同法人三園の評価受審を決めました。主任を中心に全職員で、春から取り組みました。課題の整理、認識の共有化などを行う段階で多くのことを考え、実践できたことを感謝しております。書面においての確認や、評価項目一つひとつに対しても様々な見解があり、再確認の大切さを感じました。他にも保育分野のみでなく、職員全員が経営や運営などにも関わっていかねばならないと痛感しました。

長期にわたり評価して下さいました評価調査員の方々には、優しく見守って頂きながら、あたたかく、的確なアドバイスを頂き感謝しております。

保護者様にはお忙しい中、利用者家族アンケートにご協力いただき感謝申し上げます。回収率70%、そして高い評価をいただき、職員一同大変嬉しく思いました。

現状に慢心することなく、今後も努力して参ります。今回受審にあたり、職員一同忌憚のない意見交換ができ、良い雰囲気の中で努力すること、考える時間が共有できたことに感謝いたします。ありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり